

公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

URC資料室だより NO.74 平成26年8月号

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館6F

☎092-733-5707 FAX:092-733-5680 e-mail: library@urc.or.jp

福岡アジア都市研究所は、
福岡市を中心に産学官が協力して
設立した研究機関です

目次

- ◆はじめに イノベーション・スタジオ・フクオカのキック
オフフォーラム開催報告/福岡地域戦略推進協議会
イノベーションスタジオ福岡担当 安川 浩平・・・1
- ◆就職活動支援セミナー「就活応援クラブ」の講師を務め
ました。/研究員 柳 基憲・・・2
- ◆URCニュース
平成26年度第2回都市セミナー開催報告・・・2

- 平成26年度 市民研究員が決定しました。・・・2
- ◆今月のおすすめ・・・3
- ◆マスコミでみるURCの今・・・3
- ◆所員雑感 「美しかったパリの夜空」-上-/特別研究員
岡田 允・・・4
- ◆資料速報 平成26年7月受入分・・・別添

はじめに イノベーション・スタジオ福岡のキックオフ・フォーラム開催報告

福岡地域戦略推進協議会 イノベーションスタジオ福岡担当 安川浩平

イノベーションスタジオ福岡は、多様なバックグラウンド、
能力をもつ様々な分野の人材が混ざり合い、共に新しい未
来を創造していくプラットフォームです。“人”を起点とした
福岡ならではのイノベーション創出モデルをつくりだし、革
新的で創造的な交流の場を通じて、新たな創業やスタート
アップ企業の創出、新規事業開発などによる新しいビジネ
スを次々と生み出していくことを目的としています。

産官学民の協働により、福岡をフィールドとして、多種多
様な人材の交流とアイデアの交換から、「市民力の高い福
岡だからこそできる」イノベーションを生み出すことを目的と
しています。7月29日火曜日19時から21時半まで、251
名の参加者をお迎えし、キックオフ・フォーラムを開催しま
した。

今回のキックオフ・フォーラムでは、本プログラムの概要
とそこから発展する福岡の未来への展望を、参加者の皆様
と共有し、第一回プログラムのテーマである「日常の中にあ
るスポーツのデザイン」に、どのようなイノベーションの可能
性があるか、実践者をお招きして会場全体で考えました。

はじめに、主催者福岡地域戦略推進協議会(以下
「FDC」)後藤太一事務局長から参加者の皆様への挨拶と

共に、FDCの取り組みとイノベーションスタジオ福岡の今後
の活動目標についてご報告を行いました。

次に、プレゼンテーション「イノベーションスタジオ福岡
の概要」をイノベーションスタジオ福岡ディレクターである
田村大氏より、設立の背景から、プログラムの説明、今年度
の第一プロジェクトである「日常におけるスポーツのデザイ
ン」に関する期待などをご説明いたしました。

続いてキーノート「スポーツがもたらすイノベーション」を
元プロ陸上選手である為末大氏より、スポーツの起源から
最先端の事例まで幅広い視点から語っていただき、スポー
ツが可能にするイノベーションについて会場の皆様と共有
いたしました。

最後のパネルディスカッション「福岡にこそできるスポー
ツのイノベーション」では、福岡で25年以上もフィットネスの
普及に努めていらっしゃる森山咲子氏、昨年の試行プロジ
ェクトの参加者でもある藤岡定氏、イノベーションスタジオ
福岡に企業の立場から期待を寄せてくださっているNTTコ
ミュニケーションズ金氏と、会場の皆様とでディスカッショ
ンし、会を終えました。

パネルディスカッションの様子

後藤事務局長による挨拶



為末大氏によるプレゼンテーションの様子



会場全体の様子



田村イノベーションスタジオディレクター
によるプレゼンテーション



就職活動支援セミナー「就活応援クラブ」の講師を務めました。 研究員 柳基憲

7月20日、就職活動支援セミナー「就活応援クラブ」に講師として参加しました。福岡県留学生サポートセンター運営協議会(FISSC)が主催する本講座は、平成24年度から日本の就職活動スケジュールに沿ったテーマで開催されていますが、今年度は福岡外国人元留学生の会(FFOSA)の協力の下、福岡で働いている元留学生を招聘し、実際の就業内容や就職活動体験談などについて直接聞く場を設けました。第1回目は「留学生の就職活動について～就職支援の現場から～」をテーマに私は、現在就職活動中の留学生約20名を対象に、平成25年度個別研究「グローバル人材活躍型都市形成に向けた外国人留学生の就職支援に関する調査研究」を紹介しながら、有効な就職活動方法や自分自身の就職活動体験などについて話した後、質疑応答を行いました。その後のグループディスカッションでは、「なぜ日本に残りたいのかについて深く考えるようになった」、「日本語が流暢でない状況の中で、面接の時に有効な自己PR方法について考えくなった」など、より具体的な就職活動の方向性まで導き出すことも出来ました。

このような、外国人留学生同士で就職活動について話し合える場を提供していくことは、人材不足の時代を迎えている日本において、新たな人的資源となる留学生に対し、日本での就職の動機付けや就職活動の勇気付けに役立つことと思われます。



講師を務める柳研究員（中央）

URCニュース

平成26年度 第2回都市セミナー アジア情勢報告会

「世界の都市政策とアジアの視点」を開催しました。

7月30日水曜日、本年度第2回目の「URC都市セミナー（アジア情勢）」を開催しました。

今回のセミナーは、『世界の都市政策とアジアの視点』と題して、西南学院大学法学部教授、当研究所顧問、元国連ハビタット福岡本部長の野田順康（としやす）氏をお招きして報告会を開催しました。

当日は酷暑にもかかわらず、多数の受講者にご参加いただきました。

参加者は、講師がかつて在籍した国土交通省や国連ハビタットでの見識を織り交ぜた世界の都市政策の動向に関する報告に熱心に聞き入っている様子で、報告会の後半では活発な質疑応答が行われました。

なお、セミナー当日の講演資料は、ホームページにアップしております。(PDF資料) (中村由美研究員)

第2回都市セミナーの様子



グラフを使って説明する野田顧問



平成26年度 市民研究員が決定しました。

今年度の市民研究員は、『スポーツを生かしたまちづくり』をテーマに3名の方が決定しました。7月17日木曜日には委嘱状交付式、第一回目の定例研究会が開かれ、約9ヶ月間の研究活動が始まりました。 (中村由美研究員)

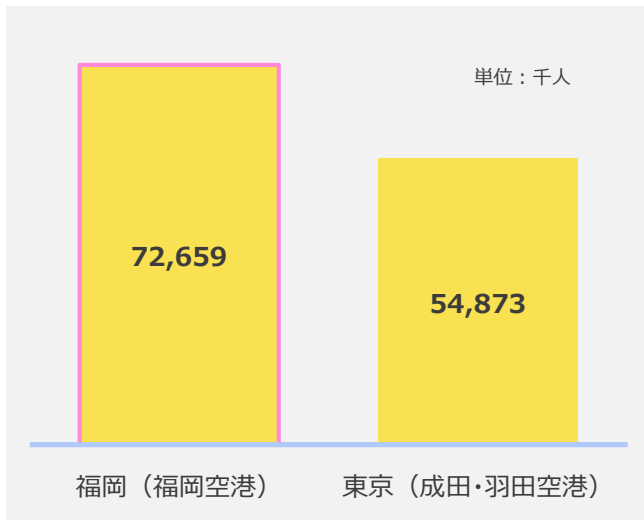
30日木曜日の第2回研究会冒頭には、当資料室の利用案内と、先行研究資料検索等の説明をさせていただきました。つたない説明に最後までお付き合いください、ありがとうございました。資料室が皆様のお役にたてることを願っています。(都市政策資料室 山崎三枝司書)

7月17日、URC会議室にて撮影→



今月のおすすめ

Fukuoka Growth 2014-2015 Global City Status 世界のなかの福岡公開 福岡アジア都市研究所



情報戦略室 平成26年7月発行

昨年度、情報戦略室より「Fukuoka Growth～福岡の成長ポテンシャル～」を定期的に発信しておりましたが、引き続き今年度は、「Global City Status 世界のなかの福岡」を発信します。世界における福岡市の Status(位置付け)をデータで確認しながら、さらに存在感を高めるヒントを模索してまいります。

URL: <http://urc.or.jp/fukuokagrowth-gcs> (「1.アジア-福岡-東京という新しい価値の潮流」を公開中)

福岡市は、発展著しいアジア地域と日本を結ぶ玄関口にあり、空路3時間以内の海外都市の圏域人口規模は、福岡市(福岡空港)は東京(成田・羽田)を大きく上回ります(図1)。アジア-福岡-東京という結び付きの中で、国内でも特別な意味を持つ拠点都市として、福岡市の存在感は今後ますます高まっていくと期待されます。

(情報戦略室 畠山 尚久研究主査)

図1.国際線3時間以内就航都市の圏域人口規模<福岡・東京比較>

「Global City Status 1. アジア-福岡-東京という新しい価値の潮流」より

資料:福岡空港ビルディング、成田国際空港、羽田空港国際線旅客ターミナル(2014年7月)

人口は「Demographia」(2014年)による都市圏人口、数値のないものは各都市単独の統計数値(詳細はwebにて)

◆マスコミで見る「URC」の今! -最近1か月の情報を中心に-

◎新聞

(2014/7/30 秋田魁新報 朝刊 13p)

関東の美術展 群馬 渋川・ハラミュージアムアークで市民研究員OB藤浩志さんが「トイザウルスの秘境」展開催の予告 10月5日まで

(2014/7/30 西日本新聞 朝刊 34p)

ビジネス観点で地域課題を解決 福岡で組織設立

福岡地域戦略推進協議会(FDC)が設立する「イノベーションスタジオ福岡」の設立フォーラムの開催報告(*印以下同じ) 事務局長で当研究所OBの後藤太一氏があいさつ

(2014/7/30 日本経済新聞 朝刊 39p)

市民目線で社会問題解決 福岡で拠点始動 *

当研究所OG山下永子さんのコメントが紹介される。

(2014/7/20 東奥日報 朝刊 3p)

社説/2014.7.20 十和田現代美術館 アートの拠点を楽しもう

市民研究員OB藤浩志さんが館長としてコメント

(2014/7/15 日刊産業新聞 5p)

アジア景観デザイン学会/長崎で総会/新会長に坂井氏

同学会の活動にアジア都市景観賞が紹介される。

(2014/7/12 西日本新聞 朝刊 30p)

障害者の視点から斬新浴衣 脳性まひのマジシャン 森裕生さん発案「おしゃれで誰でもが着られる」 「イノベーションスタジオ福岡」の事業が形になる。

(2014/7/6 西日本新聞 朝刊 36p)

言いたい集団的自衛権 自衛と戦闘行為 境目ない

野田順康顧問が主張

◎雑誌

(2014/7/31 フォーラム福岡 2014.7 Vol.56 54～57p)

シリーズ KAIL 九州・アジア経営塾Vol. 55:新塾長に橋田・九電工相談役を迎え、新たなスタートを切る

KAIL インタビュー橋田紘一・新塾長に聞く

当研究所橋田紘一会長が KAIL 新塾長としてインタビューを受ける。

(2014/7/31 新産業政策研究かわさ 2014 197～205p)

論考「地方圏モノづくり企業の事業環境変化への対応

ー山形県を事例としてー」を当研究所OB山本匡毅さんが執筆

(2014/7/1 九州マーケティング・アイズ vol.70 7月号 20～22p)

「アジアと九州の今 デンマーク×福岡=イノベーション」

を当研究所OB山本公平さんが執筆

所員雑感 『美しかったパリの夜空』 ー上ー

特別研究員 岡田 允

旅行ルート

5月下旬、思いがけぬ息子からのプレゼントで、夫婦で「贅沢な」10日間のフランス・イタリア旅行を経験しました。その一端を記します。

福岡空港からアムステルダム・スキポール空港に直行し(約11時間)、乗り換えてパリ・ドゴール空港に(1時間20分)に到着しました。ビジネス・クラスでしたので思ったより楽でした(帰りも…)。

パリではオペラ座近くのホテルに5泊し、お決まりのルーブル美術館やオルセー美術館の見学の外、「パリ・シティ・ビジョン」の日帰りツアーバスでベルギーのブリュージュに行ったり、日本人向け旅行社「マイバス」の日帰りツアーバスで、ロワール渓谷の古城めぐり(シャンポール城、シュノンソー城、死まで3年間レオナルド・ダ・ヴィンチが住んだクロ・リュセ城)を楽しみました。

ブルージュは、北方のベニスと呼ばれ、中世の運河と町がそのまま残る「ブルージュ歴史地区」(旧市街地)に「フランドル地方のベギン会修道院群」と「ベルギーとフランスの鐘楼群」という3つの世界遺産もあります。レース布とチョコレートとワッフルの町でもあります。

ツアー参加者は、言語によってバス何台かに分かれて乗ります。私たちのバスは英語と日本語とポルトガル語で、3人のガイドが同乗し、各言語で(つまり3回)の説明があります。市内はそれぞれの言語グループ(10数人ずつ)に分かれて案内。自由行動で、私たち2人はイギリスの小学生たちに混ざって運河クルーズも楽しみました。

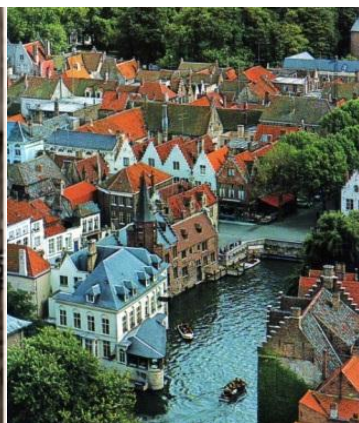
ロワール渓谷の古城めぐりは、妻は体験済みで、パリのギャラリー・ラファイエットでの買い物に充てたため、私一人で参加しました。

圧巻は、フォンテーヌブロー城で行われたインシアド(ヨーロッパ経営大学院)の同窓パーティに出席するために東京から来た息子夫婦と4人でミシュランの3星レストラン、ルドワイヤンの料理を味わえたことです。ドレス・コードがあるため、革靴・スーツを持参していました。シャンパンとワインを飲み、1人350ユーロ(1€=144円)。4人分を息子が払ってくれました。私の舌の機能を超える繊細な料理で、高級和食にも通じるようにも感じました。また、夜10時になるというのに、窓外の空は茜色に染まり(日本での夕焼け)、美しいパリの夜空にしばし“うっとり”でした。

以下次号に続く



フランス、ルワール地方のシャンポール城



ベルギーのブルージュの美しい建築と景観

ブルージュの運河クルーズからの眺め